

西中だより

第115号

発行 佐野市立西中学校 新井 義之 編集 広報委員会 印刷 (株)遠藤印刷所

私たちの目標

- 自ら学び考える
- 自他を尊重する
- たくましく生きる

高齢者疑似体験

一年 秋山 小乃羽

私が高齢者疑似体験をやってみて感じたことは、日々元気に運動したり、歩き回ったりできることのありがたさです。

この体験では重りやゴーグルを着けてコースを歩きました。まず、いつもは楽に上がれる段差も大変なんだなと思いました。そして、箸を使ったり、新聞を読んだりするのにつかみづらくて大変だと思えることができました。

今後、高齢者が大変な思いをしている時にはサポートをしたいと思いました。

一年 渡邊 紗菜

今回の高齢者疑似体験では、自分の若さを実感しました。祖母や親戚の六十五歳以上の方々は「腰が痛い」とか「小さい字が見えない」などよく言っています。それに対し私は、「そんな辛くないでしょ」と勝手に思っていました。しかし、今回の体験をやってみて身近な人たちの気持ちがよく分かり、自分の考えが大きく変わりました。これからは相手がどんなことに困っているかをよく考えて、思いやりの気持ちをもって生活したいと思います。

一年 小堀 隼太郎

僕は、今まで車椅子を運転することは出来なかったと思っていました。しかし、車椅子体験をやっても大変だということがわかりました。なぜなら、車椅子は運転するのにずっと手を動かさないといけないし、少しの段差を上るだけでも誰かに手伝ってもらわないと上がれなくて、とても不便だったからです。

この体験を生かして、これから車椅子に乗っている人が段差を上げられずに困っていたら、自分から進んで手伝ってあげたいです。

一年 檜山 璃乃

車椅子体験をして、私が想像していた以上に車椅子での生活は大変だということに気が付きました。普段なら普通に歩いていたわずかな段差でも自分一人の力では上がる事ができませんでした。また、介助する体験では段差を上る時にタイヤを上げるのがとても難しかったです。また、車椅子に乗っている人は、少しスピードが上がるだけで怖かったり、段差をおりるときの揺れで驚いたりするため、声をかけてあげることが重要だと分かりました。



立志式



二年 島田 琉杏

宿泊学習の一日目の夜に立志式がありました。式の中で式辞や友達への立志作文を聞き、みんな合唱して立志についてあらためて考えることができました。

式の後に家族の絆のDVDを見て、当たり前のように過ごしている毎日に感謝することができました。感謝を伝えることは簡単そうでも、とても難しいことです。ですから、「ありがとう」という気持ちが伝えられてうれしかったんです。これからも感謝の気持ちを忘れずに生活していきたいです。

スキー宿泊学習

二年 山岸 楓河

二年 松島 有暖

スキー宿泊学習では、二泊三日を楽しく過ごすことができました。

スキーは初めてだったので、不安でしたが、やはり一日目は全く滑れず大変でした。それでも二日目からはリフトに乗れるようになって上から下まで滑れるようになったのでとても楽しかったです。二日目の雪上レクもクラスで力を合わせて盛り上がり、良い思い出になりました。

このスキー宿泊学習で学んだことを忘れず、三年生での修学旅行に生かしたいと思います。

スキー宿泊学習で特に心に残っていることが二つあります。

一つ目は、スキーが滑れるようになったことです。初日は全然滑れなかったけれど、班のみんなと練習していくうちに滑れるようになり、二つ目は、友達と三日間一緒に過ごせたことです。クラスの人たちとの距離が縮まってうれしかったです。

このクラスで過ごせる残りの期間はあまりないので、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。



三年間の思い出



三年 山根 麻理愛

西中学校で三年間過ごして一番思い出に残ったことは修学旅行です。その理由は二つあります。

一つ目は、班員の仲を深めることができたということです。色々な場所を巡り、お互いの仲を深められました。二つ目は、日本を代表する歴史的建造物を見ることができたということです。教科書や本の中だけでは見ることができないものを見るととても魅力的でした。私はこの三年間で楽しい行事を経験し、たくさんの思い出を作ることができました。

三年 菅生 智咲

入学当初は三年間という月日にとっても長いなと思っていました。

しかし、今では「なんだかあつという間だったな」という気持ちになり、今を思っています。

自分自身としては、あまり成長したという実感はありませんが、一年生の頃には分からなかったことが分かるようになっていっているので、成長しているのだと思います。そして、恩師と呼べる先生や好きな友達が出てきて、西中に来てよかったなと思っています。三年間ありがとうございました。

三年 佐藤 広翔

私は、三年間でたくさんの思い出を作ることができました。部活動では野球以外にも多くのことを学ぶことができました。練習は大変でしたが、試合で勝ったときはとてもうれしかったです。

学校生活では、自分のことだけでなく、周りの人のことも考えて行動することを心がけました。そのため、たくさんの人と仲良くなることができたのだと思います。この三年間で人として成長することができ、よい思い出を作ることができてよかったです。

三年 重田 智希

一つ目に日光例幣使街道物語です。とても長い道のりでしたが、友達と歩いてなんとか完歩することができました。ゴールした時の達成感をはっきりと覚えています。二つ目に修学旅行です。京都・奈良で、歴史の教科書でしか見たことのない多くの社寺を見学することができました。どれも風情があり、とてもきれいでした。

このように中学校でたくさんの経験をしました。この経験を生かし、高校生活も頑張っていきたいです。

編集後記

今号には一年生の高齢者疑似体験、二年生の立志式・スキー宿泊学習、三年生の三年間の思い出の記事が掲載されています。今年度のまとめとなる二学期も、様々な行事や活動を通して多くの学びができました。今後も西中の伝統を受け継いでほしいと思います。編集に携わってくださった皆さんありがとうございました。

広報委員長 飛田 萌心奈